

◆ADCS 論文集『アジアデザイン文化研究』投稿規程

1. 原稿の種類：

学術論文、ポスター論文、研究ノート、その他(書評、通信、史料)を設ける。

このうち、[学術論文] [ポスター論文]を投稿によるものとする。[研究ノート]と[その他]は『アジアデザイン文化研究』編集委員会の選考にゆだねる。

[学術論文]：

広くデザイン文化に関する論述で、次の要件を満たしているもの。

- ・ 論理的あるいは実証的あるいは総合的に論述されているもの。
- ・ 独創性が認められるもの。
- ・ 目的、方法・手段、考察・結論が明記されているもの。
- ・ 学術的に価値ある知見を含んでいるもの。
- ・ 独創性に富み発展が期待される萌芽的な学術研究と認められるもの。

[ポスター論文]：

広くデザイン文化に関する論述・設計などを、簡便にまとめたもの。

[研究ノート]：

デザイン文化に関する論述ではあるものの、学術論文としての要件を必ずしも満たしてはいないが、新たな研究の推進・展開に資することができると、『アジアデザイン文化研究』編集委員会において認められるもの。

[その他]：

書評、通信、史料など『アジアデザイン文化研究』編集委員会で掲載の必要性が認められたもの。

2. 原稿の投稿：

- ・ 原稿は、『アジアデザイン文化研究』執筆要項に準拠して執筆すること。
- ・ 原稿は、所定の様式に基づく完全版下であること。
- ・ 投稿に際しては、[研究論文][ポスター論文]の別を明記すること。

3. 掲載の採否：

- ・ 投稿原稿の採否ならびに掲載区分([研究論文] [ポスター論文] [研究ノート])は、『アジアデザイン文化研究』編集委員会が所管する審査によって決定する。
- ・ 編集委員会は、投稿原稿の採否、投稿原稿の訂正など、審査結果を投稿者に通知する。
- ・ 投稿者は、投稿原稿の審査結果について、編集委員会に異議申し立てを行うことができる。

4. 投稿原稿の訂正：

- ・ 『アジアデザイン文化研究』編集委員会は、投稿原稿の訂正(加筆、修正など)を筆者に求めることがある。
- ・ 訂正を求められた原稿を再提出する場合には、訂正箇所の一覧を添付すること。
- ・ 指定された期日までに再提出されない場合、編集委員会は訂正の意思なしとみなす。

5. 発行：

『アジアデザイン文化』は、アジアデザイン文化学会研究論文誌として、「アジアデザイン文化学会国際シンポジウム」の開催に合わせて、随時刊行する。

6. 著作権と編集出版権：

- ・ 著作権は著者に属し、編集出版権はアジアデザイン文化学会に属する。

7. 原稿の提出先：

投稿原稿は、アジアデザイン学会総会長、および、投稿者が所属する支部会長・事務局長に提出する。

・総会長 宮崎清(千葉大学名誉教授・工学博士)

miyazaki.kiyoshi@faculty.chiba-u.jp

・中国支部 会長：張福昌(江南大学名誉教授・千葉大学名誉博士)

wfczhang@126.com

中国支部事務局長：刘俊哲 liureal@hotmail.com

・韓国支部 会長：朴燦一(建国大学校建築専門大学院教授・学術博士)

culture@konkuk.ac.kr

・台湾支部 会長：黄世輝(雲林科技大学教授・学術博士)

hwangsh@yuntech.edu.tw

・インドネシア支部 会長： Dr. Dudy Wiyancoko, Associate Professor, ITB

dudywiyancoko@bdg.centrin.net.id

・日本支部 会長：宮崎清(千葉大学名誉教授・工学博士)

miyazaki.kiyoshi@faculty.chiba-u.jp

・ウングラディッシュ支部 Dr. Masumiqbal, Senior Assistant Professor,

American International University-Bangladesh (AIUB)

masumiqbal@gmail.com

8. 投稿原稿の審査通信費：

投稿者は、別に定める投稿原稿審査通信費を、アジアデザイン文化学会が指定する箇所に納入する。

9. 投稿原稿の『アジアデザイン文化研究』掲載印刷費：

投稿者は、投稿原稿が『アジアデザイン文化研究』に掲載された段階で、別に定める掲載印刷費を、アジアデザイン文化学会が指定する箇所に納入する。

◆ ADCS 論文集『アジアデザイン文化研究』掲載の 「学術論文」執筆要項

1. 原稿は、題目、著者名、本文執筆語要旨、英文要旨、キーワード、著者の所属、本文、補遺、注、参考文献の順に書く。
2. 原稿は横書きとする。
3. 原稿量は、図表・注・参考文献を含み、刷り上りが下限 6 ページ、上限 12 ページまでの、偶数ページとする。
4. 原稿の 1 ページ目には、次の事項を記述する。
 - ① 題目(主題目および副題目)：本文執筆語および英語
 - ・ 主題目は、本文に記載されている内容が明確にわかるように記す。
 - ・ 主題目は、「・・・に関する研究」などの表現をしない。
 - ・ 副題目には、主題の研究手段、目的などを記す。
 - 例 1) 地域資源の活用に基づく地域活性化計画の方法論
—河南省洛陽地域における現地調査を通して
 - 例 2) 伝統的設計と現代的設計との相克
—既刊の文献・事例解析に基づく 21 世紀設計理念の探求
 - 例 3) 中国洛陽唐三彩陶芸の技術的変容

—古文献解析ならびに陶芸工房職人への聴き取り調査を通して

- ②著者名：本文執筆語および英語
 - ③要旨：本文執筆語 500 字程度
 - ④英文要旨：300 words 程度
 - ⑤本文の内容を表すキーワード：本文執筆語および英語 3～5 語
 - ⑥著者の所属：本文執筆語および英語
5. 本文は、2ページ目から初め、6、8、10、12ページのいずれかで終わる。
6. 原稿はすべて、本学会指定のフォーマット(別紙参照)を使用し、A4の用紙に原寸で作成する。
7. 原稿の文体は「である」調を基本とする。
8. 見出しのつけ方は次のようにする。
- 章：1. 2. 3. …
 - 節：1.1. 1.2 1.3. …
 - 項：(1) (2) (3) …
 - 目：① ② ③ …
- 章が変わるときには1行空けて、新しい章に入る。節・項・目が変わるときには、1行空けない。
9. 数字は原則として算用数字を用い、例えば、7 cm、15g、1.258、5時間のように記す。また、数字は、1桁の場合は全角、2桁以上の場合には半角を用いる。
10. 年号、月日は、原則として算用数字を用いる。また、年号は西暦による表記とし、元号を併記する場合には、例えば1963(昭和38)年のように記す。
11. 図表のタイトルのつけ方は次のようにする。
- ①図・写真のタイトルは、図・写真の下につける。
 - ②表のタイトルは、表の上につける。
 - ③図・表・写真には、それぞれのタイトルの前に一連の番号をつける。
- 例1) 図1. 洛陽地域における陶芸工房の地理的分布
 - 例2) 表1. 洛陽地域における陶芸工房職人数の時代的变化
 - 例3) 写真1. 洛陽工房における焼成窯
12. 本文中における注は、注をつける語の後に[注1] [注2] …と記す。
- また、原稿の最後部に、次のように記す
- 例1) 注1 日本太郎『日本の設計図譜』太陽出版社 2008 p.16
 - 例2) 注3 東海五郎「唐三彩の意匠特質」『設計学』名月書房 1978 pp.41-47
 - 例3) 注5 リーチ, E. 『文化と文明』青山一郎訳 山中出版局 1898 (Leach, E. "Culture and Civilization", Cambridge Press, 1887)
 - 例4) Leach, E. "Forms and Function", National Press, 85, 1998

**執筆に際しては、以上のほか、
別紙の割付を参考にしてください。**

注

「ポスター論文」の作成要項は、別紙をご覧ください !

ADCS 論文集『亚洲设计文化研究』投稿规则 (中国語版)

1. 稿件种类:

稿件分为研究论文、POSTER 论文、通讯、史料) 三类。

[研究论文]:

作为广泛的论述设计文化领域的论文, 需要满足以下条件。

- 有逻辑的, 有实证的, 或者是综合性地进行论述。
- 具有独创性。
- 明确表述了研究目的, 手段方法, 考察结论的。
- 蕴含学术性价值及见解的。
- 被认为是值得期待的具有独创性的启蒙性学术研究。

[POSTER 论文]:

未达到研究论文的要求, 但有广泛的关于设计文化领域的论述, 且被认为是有助于推动新研究开展的稿件。

[其它]:

书评、通讯、史料等、『亚洲设计文化研究』编辑委员会认为有刊载必要的稿件。

2. 稿件投稿:

- 稿件需要根据『设计设计文化研究』执笔要领的要求编写。
- 稿件应该是在既定版式下的完整版。
- 投稿的时候, 请标明属于[研究论文][POSTER 论文][其它]中的哪一类
- 共同编写的稿件, 第一作者应该是亚洲设计文化学会的会员。

3. 刊载与否:

- 投稿稿件的采用与否、刊载类别 ([研究论文][POSTER 论文][其它]) 由『亚洲设计文化研究』编委会监督审查决定。
- 编委会有责任通知投稿者其投稿稿件是否被采用、投稿稿件的校正内容等审查结果。
- 投稿者有权利针对投稿稿件的审查结果向编委会提起异议。

4. 投稿稿件的校正:

- 『亚洲设计文化研究』编委会可能会提请作者对其投稿稿件进行校正 (添加、修改等)。
- 提交校正后的稿件时, 需要附带校正一览表。
- 如果在截止日期前未收到校正后的稿件, 将被编委会认为投稿者没有校正的意愿。

5. 出版发行:

『亚洲设计文化研究』将作为亚洲设计文化学会的研究论文杂志, 配合「亚洲设计文化学会国际研讨会」的召开适时出版发行。

6. 著作权和编辑出版权:

- 著作权属作者所有, 编辑出版权属亚洲设计文化学会所有。

7. 稿件提交处:

投稿稿件应向亚洲设计学会会长或者投稿人所属支部的支部会长、事務局长提交。

- 総会长: 宫崎清 (千叶大学名誉教授, 工学博士)

miyazaki.kiyoshi@faculty.chiba-u.jp

- 中国支部 会长: 张福昌 (江南大学名誉教授, 千叶大学名誉博士)

wfczhang@126.com

中国支部事務局长: 刘俊哲 liureal@hotmail.com

- 韩国支部 副会长：朴燦一（建国大学校建筑专门大学院教授，学术博士）
culture@konkuk.ac.kr
- 台湾支部 会长：黄世辉（云林科技大学教授，学术博士）
hwangsh@yuntech.edu.tw
- 印度尼西亚支部 会长：Dr. Dudy Wiyancoko, Professor, ITB
dudywiyancoko@bdg.centrin.net.id
- 日本支部 会长：宫崎清（千叶大学名誉教授，工学博士）
miyazaki.kiyoshi@faculty.chiba-u.jp
- 孟加拉人民共和国支部：Dr. Masumiqbal, Senior Assistant Professor,
American International University-Bangladesh (AIUB)
masumiqbal@gmail.com

8. 投稿稿件的审查通讯费：

投稿者需要将另定的投稿稿件审查通讯费缴纳到亚洲设计文化学会指定的地方。

9. 投稿稿件的『亚洲设计文化研究』刊载所需的印刷费：

投稿稿件在『亚洲设计文化研究』刊载后，投稿者需要将另定的刊载印刷费缴纳到亚洲设计文化学会指定的地方。

◆ ADCS 論文集『亚洲设计文化研究』口頭発表論文執筆要領

1. 稿件需按照题目、作者名、正文摘要、英文摘要、关键词、作者所属、正文、补充、注、参考文献的顺序编写。
2. 稿件应采用横向版式。
3. 稿件页数，包括图、注、参考文献的下限为 6 页，上限为 12 页（且页数必须是偶数）。
4. 稿件的第一页，应对以下的事项进行记述：
 - ①题目（主标题和副标题）：正文使用的语言及英语
 - 主标题应明确表明正文记载的内容
 - 主标题不能是“关于。。。的研究”
 - 副标题记载主题的研究手段，目的等
 - 例 1) 基于地域资源活用的地域活性化计划的方法论
—通过对河南省洛阳地域的实地调查
 - 例 2) 传统设计和现代设计的相克
—基于对既刊载文献、事例的解析探求 21 世纪设计理念
 - 例 3) 中国洛阳唐三彩陶艺技术的变迁
—通过对古文献的解析以及对陶作坊工人的访谈调查
 - ②作者名：正文使用的语言及英语
 - ③摘要：正文使用的语言 500 字左右
 - ④英文摘要：300words 左右
 - ⑤表达正文内容的关键词：正文使用语言及英文 3~5 个词
 - ⑥作者所属：正文使用的语言及英语
5. 正文应从 2 页开始，以 6、8、10、12 页结束。
6. 稿件全部需要使用本学会指定的格式（另附），以 A4 纸张的尺寸编写。
7. 稿件文体应以「论述」为基础。

8. 目录标记方式如下。

章： 1. 2. 3. …

节： 1.1. 1.2 1.3. …

项： (1) (2) (3) …

目： ① ② ③ …

换章时需空一行，接新的章节。换节、项、目时无需空行。

9. 原则上使用阿拉伯数字，例如，7cm,15g,1.258,5 小时。另外，一位的数字应用全角，两位以上应用半角表示。

10. 记载年月日等信息原则上使用数字。另外，记年用阳历，并用年号是的记载方式示例为：1963（昭和 38 年）。

11. 图表题注方式如下。

①图、照片的标题应标注在图片、照片下方。

②表的标题应标注在表上方。

③图、表、照片的前面需标注相连的序号。

例 1) 图 1. 洛阳地区陶作坊的地理分布

例 2) 表 1. 洛阳地区陶作坊工匠人数随时代的变化

例 3) 照片 1. 洛阳工房的窑

12. 在正文中的注解，应在被注解语句后标记 [注 1] [注 2] …。

另在正文最后，应以如下格式记述

例 1) 注 1 日本太郎 『日本の設計図譜』 太陽出版社 2008 p. 16

例 2) 注 3 東海五郎 「唐三彩の意匠特質」 『設計学』 名月書房 1978 pp. 41-47

例 3) 注 5 リーチ, E. 『文化と文明』 青山一郎訳 山中出版局 1898 (Leach, E. “Culture and Civilization”, Cambridge Press, 1887)

例 4) Leach, E. “Forms and Function”, National Press, 85, 1998

执笔时，除了以上内容，
请参考另附的有文字间隔详情的模版

注

「ポスター論文」の作成要項は、別紙をご覧ください !